

8月19日 旭日単光章
地域の安全と発展のために

今年5月に亡くなられた荒木信夫さん(永)に旭日単光章が授与されました。故・荒木さんは昭和62年5月に旧泗水町議会議員に初当選。3期12年にわたり在職し、地域の発展と住民生活の安全確保に多くの功績を残しています。



市役所で行われた伝達式では、遺族代表の荒木信太郎さん(永)が出席しました

8月25日 瑞宝双光章
佐々木輝男さんが受章

佐々木輝男さん(村吉)が瑞宝双光章の受章報告のため市役所を訪問しました。佐々木さんは38年間の教職の後、幼稚園長、教育委員、教育委員長を務め、県と地域の教育の発展に多くの功績を残しています。



④から渡邊和博教育長、佐々木さん、江頭実市長。佐々木さんは「すばらしい章をいただいて、大変光栄です」と話しました

8月31日 菊池観光協会
電動自転車で観光地めぐり

各種団体からの寄付を受けて、菊池観光協会が「電動アシスト付自転車」3台を購入。担当者は「今までは公共交通機関で来た人の移動手段がなかった。鞆智城や竜門ダムなど、観光地への移動に活用してほしい」と話しました。



今回寄付をしたのは温泉観光旅館協同組合、菊池市物産振興協会、菊池市造園業組合、菊池菓子工業組合、菊池市商店会連合会です

8月18日 原口製菓株式会社 古能美
九州健康おやつプロジェクトに認定

原口製菓株式会社「古能美」のオリジナル製品「ゴンポーノ」が九州健康おやつプロジェクトの認定商品になりました。ゴンポーノは、菊池平野の肥沃な土壌で作られたゴボウをベースにしたベジタブルクッキーです。



古能美の皆さんと江頭実市長。ゴボウの風味がクセになるゴンポーノ、ぜひご賞味ください

8月24日 菊池観光協会
日本遺産に学ぶ わがまち菊池

市内で勤務する職員や菊池の事を勉強したいという人を対象に菊池一族や文化財に関する学習会を行いました。菊池への理解を深めて欲しいという思いから菊池観光協会が開催。当日は40人を超える人が参加しました。



学習会後、將軍木や築地井手など市内の文化財を見学。参加者は「菊池のことを知ることができてよかった」と話しました

8月30日 雨風から農作物を守るために
赤星地区で風止め神事と神楽奉納

下赤星区にある菅原神社に上赤星、下赤星区の関係者が集まり、神事が行われました。手作りのミニチュアの蓑と笠を竹竿に吊るし、雨風から農作物が守られるようにと祈願。今宮神社では赤星神楽連による神楽奉納も行われました。



新型コロナウイルスをはじめとする災いを追い出したいという願いを込め、中央図書館に蓑と笠を10月末まで展示しています

8月6日 菊之池グロウズ
収益を被災地のために寄付

市内の学童軟式野球チーム「菊之池グロウズ」が栽培・販売したジャガイモの収益約6千円を義援金として令和2年7月豪雨のために寄付。「少しでも被災者の役に立ちたい」との思いからチームで考え行動したものです。



後援会長の上田功さん(南古閑)は「子どもたちの行動が困っている人たちの一助になればうれしいです」と話しました

8月7日 菊池観光協会
感染症防止対策の呼び掛けを実施

菊池観光協会が感染防止対策チェックリストや業種別ガイドラインを配付し、同協会加盟の約20店舗に感染防止対策の徹底を呼びかけました。谷志和洋代表理事は「感染対策を行っている飲食店を安心して利用してほしい」と話しました。



当日はフェイスガードの配付も併せて行いました

8月18日 旧菊池飛行場
保存活動の一環で表札を復元

「花房(菊池)飛行場の戦争遺跡を未来につたえる会」(倉沢泰代表)が戦争遺跡の保存活動の一環として旧菊池飛行場正門に当時の表札を復元し設置。倉沢代表は「これからも飛行場の遺跡を多くの人に伝えたい」と話しました。



表札の題字は泗水中学校3年生の成田 母花さん、植野怜央奈さん、清原心乃さんが作成。木材は菊池森林組合から菊池産の板材が提供されました

8月2日 新型コロナウイルスの終息を願って
今区で風鎮祭が行われました

風鎮祭は台風の時期に行われ、「風止め」ともいわれます。多くの場合、風と同時に災厄や病気が集落の中に入らないようにとの意味合いも含まれており、今年はコロナを追い出したいとの願いを込めて祈願されました。



区民が製作したミニチュアの蓑と笠を奉納。蓑と笠は雨風をしのぐために身につけることから風鎮祭で奉納されています

8月6日 本多接骨院inアスリートケアハウス
不織布マスク2,000枚を寄贈

本多接骨院inアスリートケアハウスの本多慶一郎院長(花房台)が不織布マスクを寄贈。「新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性がある。市の感染予防対策に役立ててほしい」と話しました。



本多院長。寄贈されたマスクは、新型コロナウイルス感染拡大防止のために活用します

8月12日 菊池南中学校
豪雨被災地の役に立ちたい

校内の募金活動で集めた資金を7月豪雨で被害を受けた芦北町立佐敷中学校に行き、寄付をしました。佐敷中学校の生徒会と合同ボランティアも行き、防災とともに「住み続けられるまちづくり」を目指す意識も高まりました。



生徒会の地下拓志さんは「災害の怖さを実感しました。活動を通し、皆さんに喜んでいただけたのでうれしいです」と話しました